



取扱説明書



UPS ステーション for Windows
ユーザーズ・ガイド【概要／運用編】

安全にお使いいただくために

製品を使用する前に、必ずこのマニュアルをお読みください。

注意事項を守って製品をご使用ください。

このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に保管してください。

表記について

本書では、本ソフトウェアを安全に正しくお使いいただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示を使用しています。これらの絵表示の個所は必ずお読みください。

安全性に関する事項

	危険	指示を守らないと、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを示します。
	警告	指示を守らないと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。
	注意	指示を守らないと、人が傷害を負う可能性または物的被害のみが想定されることを示します。

安全のために

	注意事項	安全のために、その行為を強制することを示しています。
--	-------------	----------------------------

2011年8月第12版

- (1)本ソフトウェアおよび、本書の内容の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変する事は禁止されています。
- (2)本書に記載されている各社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
- (3)本ソフトウェアを使用した事によってシステムや機器に万一トラブルや故障が発生しても、弊社は原因の如何に関わらず一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- (4)本ソフトウェアの仕様および本書に記載されている事柄は、将来予告無しに変更する事があります。
- (5)商品の内容については万全を期していますが、ご不審の点や誤り、本書の記載漏れなどお気づきの点がありましたら、弊社までご連絡ください。

Copyright(C) Fuji Electric Co.,Ltd. All Rights Reserved.

UPSステーション ユーザーズ・ガイド【概要 / 運用編】

目次

概要編	1
概要.....	1
特長.....	1
動作環境.....	2
UPSステーション.....	3
運用編	4
運用.....	4
バッテリーアラームの表示.....	5

概要編

概要

「UPS ステーション」とは、単独で動作している中・大型 3 相 UPS と並列冗長で動作している中・大型 3 相 UPS 及び保守バイパス盤 / 入出力盤などの関連装置の状態監視を行うとともに、複数の UPS ドメインを常時一元管理することができるソフトウェアです。

「UPS ステーション」は、中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の状態監視のみの使用も可能です。

「UPS ステーション」は、UPS ステーション配下の複数 UPS ドメインの一元監視のみでの使用も可能です。

特長

UPS ステーションモニタ

UPS ステーションモニタはサービスアプリケーションとして常駐動作を行っています。UPS ステーションモニタの動作状態はタスクトレイのアイコンで確認することができます。

UPS ステーションエクスプローラ

UPS ステーションエクスプローラは表示・設定の 2 つのモードをボタン操作により、簡単に切り換えることができます。(設定モードを使用するためには、アクセスコードの入力が必要です)

また、UPS ステーションの構成が一目でわかるように、UPS ステーション画面にてツリー表示します。

詳細の監視データはデータ表示部に表示され、タブ切換により、任意の画面で状態を確認することができます。

全監視情報表示

UPS ステーション構成の全監視情報を一画面で確認することができます。どこで、どのような警報が発生しているか大まかに把握することができます。

系統図表示機能

中・大型 3 相 UPS の動作状態をグラフィカルに表示します。動作状態が一目でわかります。

イベントマップ機能

中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の警報発生状態を一目で確認することができます。

計測マップ機能・計測グラフ機能

中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の計測値情報を確認することができます。計測マップ機能では全計測情報の確認が行えます。

計測グラフ機能では、中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の計測値情報をグラフィカルに確認することができます。

UPS ドメインエクスプローラ、UPS エクスプローラ互換

UPS ステーション配下の UPS ドメイン、UPS グループは UPS ドメインエクスプローラ、UPS エクスプローラと同じ操作で配下情報を確認することができます。(設定、制御操作は行えません。設定、制御操作は UPS ドメインエクスプローラ、または、UPS エクスプローラ上で行ってください。)

警告カスタマイズ機能

中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の警報発生時にコマンド実行・メール送信・モデムへの文字列送信の設定ができます。

動作環境

オペレーティング・システム (OS)

Windows NT4.0 (Service Pack 6 以上適用のこと)

Windows 2000 (Service Pack 2 以上適用のこと)

Windows XP (Service Pack 2 以上適用のこと。Home Edition は動作未確認)

Windows Server 2003

Windows Vista (Ultimate、Enterprise は動作未確認)

Windows Server 2008

Windows 7

上記全ての OS 環境下で Internet Explorer 5.5 SP1 以上が適用されていること

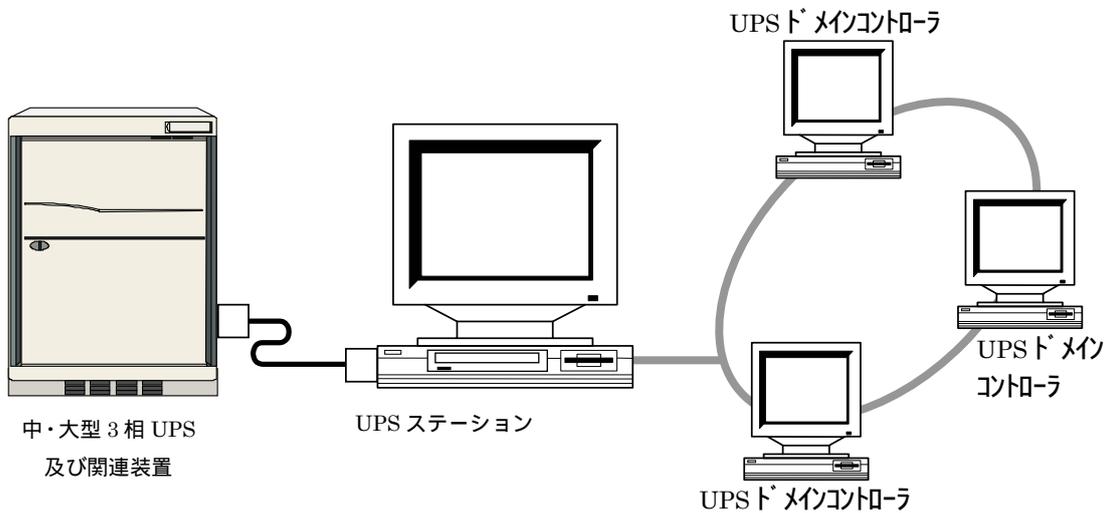
コンピュータ

CPU	: Intel 社製 CPU(Pentium 500MHz 以上、または同等 CPU 以上を推奨)を搭載した PC/AT 互換機を推奨
メモリ	: 512MB 以上を推奨 本プログラムが動作するために使用するメモリ量は、およそ 128MB です。
HDD	: 110MB 以上の空き容量を推奨 HDD の使用量は、インストール直後では、およそ 75MB 程度使用します。また、電源ログや計測ログ等をログ情報として取得していますが、イベントの発生状況・計測口 グサンプリング間隔・接続する中・大型 3 相 UPS やドメインコントローラ数によって変動 します。 推奨値は、中・大型 3 相 UPS 及びドメインコントローラ (配下 UPS グループ 1 グループ) を各 1 つ接続し、中・大型 3 相 UPS は、計測ログサンプリング間隔を 1 分に設定し、30 日間運用した場合の予想使用量です。
シリアルポート	: UPS とシリアル接続する場合、COM1 ~ COM4 までのいずれか 1 つを占有
CRT 解像度	: SVGA (800 × 600) 以上、256 色表示以上を推奨
モデム	: 1 台 (メッセージを送信する場合)
ネットワーク	: LAN カード (10BASE-T または 100BASE-TX)
通信プロトコル	: TCP/IP(UDP/IP)

UPSステーション

UPS ステーション

以下の図は、UPS ステーションの構成を表したものです。



UPS ステーションのインストール形態

本ソフトウェアを使用する場合のインストール形態について、以下の表にまとめます。

コンピュータのロケーション (構成図内での位置付け)	インストールされるモジュール	インストーラ
UPS ステーション	<ul style="list-style-type: none"> ・UPS ステーションモニタ ・UPS ステーションエクスプローラ 	UPS ステーション用

運用編

運用

UPS ステーションにより解決できる運用とその利便性について、ご紹介致します。

Power-MAX を単独で監視したい

UPS ステーションをコンピュータにインストールし、そのコンピュータと中・大型 3 相 UPS を専用シリアル通信ケーブルで接続することで可能となります。又、中・大型 3 相 UPS に Network Agent Card を使用することにより、ネットワーク経由で監視することも可能です。

中・大型 3 相 UPS の並列冗長運転を監視したい

UPS ステーションをコンピュータにインストールし、並列冗長運転を行なっている中・大型 3 相 UPS 及び関連装置にそれぞれ Network Agent Card を使用します。中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の使用されている Network Agent Card とネットワーク経由で通信することで可能となります。

Power-MAX の監視は必要ないが、複数の UPS ドメインを一元監視したい

UPS ステーションをコンピュータにインストールし、そのコンピュータから監視したい UPS ドメインを指定することで可能となります。中・大型 3 相 UPS 及び関連装置は必要ありません。

Power-MAX の監視と複数の UPS ドメインの監視を一緒に行いたい

UPS ステーションをコンピュータにインストールすることで可能となります。

コンピュータの設置場所等の付属情報を入力したい

UPS ステーションやコンピュータの付属情報を登録することができます。

UPS にコンピュータの他、HUB などのネットワーク機器を接続しているが、その情報を入力したい

UPS ステーションはコンピュータや接続機器の付属情報を登録することができます。これによって、実際に中・大型 3 相 UPS 及び関連装置に接続されている接続機器情報が把握できます。

コマンド実行機能を行いたい

中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の状態（運転、停止、停電、復電等のイベント）毎に、ユーザの指定するコマンドを実行できます。

バッテリーアラームの表示

(1) 中・大型 3 相 UPS からバッテリー寿命信号を検出した場合、バッテリーアラームダイアログを表示します。



【機能】

中・大型 3 相 UPS のバッテリー交換をユーザに促します。

【操作】

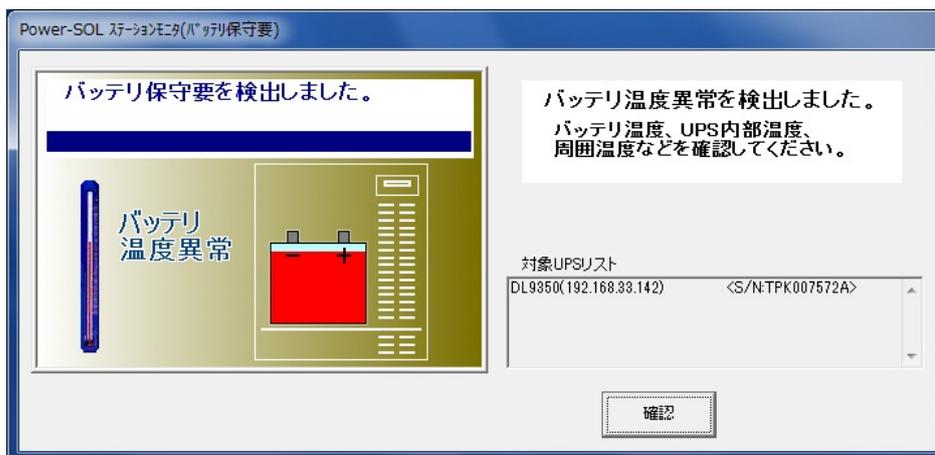
機能名称	動作概要	ショートカットキー
表示間隔設定	次回に表示までの期間を設定します。 表示間隔設定後は、午前 9:00 に再表示されます。	無し
確認	ダイアログを閉じます。	無し

【説明】

本ダイアログは、デフォルトの状態ではバッテリー寿命となる約 3 ヶ月前に表示されます。

(装置本体の設定により、通知時期が異なります。また、お客様の使用環境によって本ダイアログ表示後のバッテリー寿命時期が変動する可能性があります。)

(2) 中・大型 3 相 UPS からバッテリー保守要信号を検出した場合、バッテリーアラームダイアログを表示します。



【機能】

中・大型 3 相 UPS のバッテリー温度異常をユーザに通知します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
確認	ダイアログを閉じます。	無し

【説明】

本ダイアログは、バッテリー温度異常、UPS 内部温度異常、周囲温度異常などの場合に表示されます。